

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

申請者	滋賀県高島市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	110,771千円（16,279千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・豊かな水と大地に育まれる本市の一次産業の生産力および本市ならではの特産品をECを用い効果的に魅力発信することや、地域が一体となって取り組むオール高島での特産品販売を促進し、生産者・事業者の販路拡大につなげていく。 ・北陸新幹線の敦賀延伸等を好機と捉え、本市が選ばれるまちとなるよう魅力ある情報発信や受入態勢の整備を行い、観光客ならびに外国人観光客の誘客促進を行う。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	高島を稼げる地域へ！ 観光客増加 生産者・事業者の販路拡大 海外販売 インバウンド誘客 特産品振興 観光情報の発信 EC取引の利用促進 高島を全国・世界へ		
KPI	①本プロジェクト参画事業所の市内就業者数の増加（+178人） ②本プロジェクトにおける海外での特産品の売上額の向上（+700万円） ③EC（電子商取引）による特産品の売上額の向上（+1,380万円） ④外国人観光入込客数の増加（+6.7万人）	関連URL	https://www.city.takashima.lg.jp/soshiki/seisakubu/sogosenryakuka/1/2/1/index.html

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【健康でエコなマイクロツーリズム推進プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県ほか 6 自治体※	初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	492,000千円 (77,093千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	- 琵琶湖畔と内陸部をつなぐ観光周遊の流れの創出を図る。 - 観光客が地域を周遊することにより滋賀県の食や文化等の魅力を体験し、自ら情報発信することにより観光客の誘客へとつなげる好循環を図る。 - サイクルステーションやレンタサイクル等を利用することにより、観光客が自らのニーズに合った健康でエコなマイクロツーリズムを推進するとともに、環境負荷の低いサステナブルツーリズムへの転換を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	地域経済の活性化を図るため、日本遺産をはじめとした県内観光コンテンツを活用したマイクロツーリズムの創出を目指す。 内陸部ルートを活用した新たなサイクリング人口の創出 6,400千円 民間事業者とのネットワークづくり 8,200千円 安全、安心な受入環境づくり 8,300千円 交通安全指導員の配置など安全・安心な自転車利用促進事業 15,232千円 健康でエコな自転車を軸とした湖岸アドベンチャーツーリズム発信事業 3,032千円 余呉湖周辺施設整備 4,214千円  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①健康でエコなマイクロツーリズムによる経済効果の増加額 (+1,096百万円) ②サイクルツーリズムの自転車利用に伴うCO2削減の増加量 (+1,534 t -CO2) ③女性・ファミリー向けサイクリング体験イベント参加者の増加人数 (+2,800人)		
	関連URL	http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html	

※滋賀県、大津市、草津市、守山市、野洲市、米原市、日野町の広域連携事業

事業概要【環境と経済・社会活動を両立する地域循環経済創生プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	795,058千円（161,731千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	国内外の地域のニーズに丁寧に対応するとともに地域資源を活かした地域循環経済を生み出しつつ水環境課題の解決に貢献することにより、本県の水環境ビジネスに対する認識やブランド力を高め、本県地域経済の活性化を目指す。研究を通じて明らかとなった琵琶湖固有の生態系の持つ価値や魅力を観光分野と連携して活用することで、環境保全と地域経済の活性化の積極的な両立を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○水環境技術のブランド化を中心とした海外展開等の推進 ○水環境技術をはじめとした環境ビジネスの推進支援 ・開発支援（補助）15,300千円 ○新たな視点も取り込んだ水環境課題の解決に向けた先進的な研究 ・琵琶湖の水・湖底環境の健全性評価に関する調査研究（委託料）17,000千円 ○科学的知見に基づき地域資源を活用するビジネスの推進 ・在来魚の生息状況に関する調査研究（委託料）17,000千円	 左図 研究・技術分科会の様子  右図 サイエンスエコツアーの様子	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①環境ビジネス関連のビジネスマッチング成約件数（+52件） ②ブランド認定した製品・サービスを扱う企業のうち売上高が前年度比で増加した企業の割合（+95%） ③サイエンスエコツアーのプログラム開発数（+8件）	関連URL	http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html ！

事業概要【歴史文化を活用した観光ハイブリット事業】

推進当初

申請者	滋賀県甲賀市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	513,530千円 (73,109千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・歴史文化を始めとする地域資源の磨き上げを行い魅力を発信する ・「忍者」を核とした観光誘致を図る ・史跡を活かした拠点整備等を行い、歴史文化を活用し、マイクロツーリズムを促進する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○東海道の歴史的なまち並みを活かした周遊観光ルート整備 ・土山宿本陣活用イベント開催経費ほか5,628千円 ○古代の都城遺跡である史跡紫香楽宮跡の活用 ・紫香楽宮跡に関する講演会開催ほか1,259千円 ○国史跡水口岡山城跡の魅力発信 ・城跡に関する歴史講演会の開催、環境整備1,638千円 ○中世城館の城跡の情報発信や環境整備 ・城跡維持管理（委託料）1,000千円 ○信楽焼や陶芸家の調査による焼き物産地の魅力発信 ・信楽焼調査（報酬）ほか1,589千円 ○忍者に関連する文化財や史跡等の地域資源の体験型コンテンツの開発 ・日本遺産関連施設整備（委託料）ほか24,800千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊を伴う観光客数（+194,107人） ②外国人観光客数（+110,793人） ③市内観光消費額（+9,817百万円） ④資料館等施設来館者数（+4,500人）	関連URL	https://www.city.koka.lg.jp/16565.htm

事業概要【さりげない支えあいのまちづくり こなんSDGs未来都市の実現【シュタットベルケ構想】】

推進当初

申請者	滋賀県湖南市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	46,022千円 (4,950千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	1 産業力が強化された活力あるまちの創造 2 地域が主体となった持続可能なまちの創造 3 安心して暮らせる基盤の整ったまちの創造 4 観光と交流による活性化されたまちの創造		
事業概要・ 主な経費	○協議会設置事業（750千円）自治体地域新電力会社を中心にSDGsに取り組む企業の参画の促進を図るための経費 ○SDGs×地域資源等教育推進事業（1,000千円）市内中学校・高等学校でのSDGs体験教育を市内企業との連携により行う事業のための委託費 ○林福連携事業検討（1,000千円）障がい者の連携によるバイオマス燃料安定供給をめざすためのコーディネーター育成の委託費 ○農福連携事業検討（600千円）ソーラーシェアリングにかかる農福連携の取組のための委託費 ○（仮称）若者まちづくり課プロジェクト創生事業 750千円 ○官学民連携ロールモデル創生事業 750千円 ○まちづくりフォーラム 100千円 SDGsの視点にもとづくまちづくりをテーマに、大学連携による専門的な知見の活用や、地域が主体となってSDGsの活動を行う経費		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①SDGsに配慮した活動を展開する企業数（+56社） ②自然エネルギー等導入による流出しているエネルギー費用を域内で還流（+1,350,000千円） ③官民連携によるESG投資（+230,000千円） ④市内観光入込客数（+174,555人）	関連URL	https://www.city.shiga-konan.lg.jp/soshiki/sogo_seisaku/chiiki_osei/6/sougousennryaku/sougousennryakuhyoukakai/index.html



事業概要【滋賀ならではの価値ある資源と観光を掛け合わせてつくる「シガリズム」推進プロジェクト】

申請者	滋賀県ほか7自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	859,433千円 (296,134千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・多様な主体が連携することで、滋賀ならではの地域資源を有効活用し、観光のみならず地域の幅広い産業において相乗効果を発揮することで、地域経済の活性化につなげる。 ・地域住民との交流を通じて滋賀ファンを増やすことで、関係人口の増加につなげるとともに、住民の自らの地域への愛着や誇りの醸成にもつながる「訪れてよし、住んでよし」の地域づくりを行う。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【地域資源の活用・異業種と観光の掛け合わせ】 ◇シガリズム観光誘客キャンペーン事業 84,412千円 ◇国際観光推進事業 36,100千円 ◇MICE開催支援事業 10,000千円 ◇観音文化を活用した滋賀ファンのコミュニティと深い関係人口の創出および誘客促進 10,784千円 【データやデジタル技術の活用】 ◇シガリズム創出データ活用推進事業 8,000千円 ◇バスロケーションシステム整備事業 1,600千円 【専門人材の育成・活用】 ◇シガリズム観光人材活性化・ネットワーク運営事業 9,500千円		  
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+984億円) ②シガリズム体験交流コンテンツの売上額 (新たに構築する販売プラットフォームにおける売上額) (+6百万円) ③本事業で新たに創出された観光コンテンツ数 (+192本) ④県外観光客リピーター率 (+8%)		関連URL http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/ken-seiunei/kousou/300323.html https://www.biwako-visitors.jp/shigarhythm-activity/

※滋賀県、大津市、長浜市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町の広域連携事業

事業概要【三方よしの持続可能な健康寿命延伸プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	346,927千円 (129,207千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・誰もが生涯、自分らしく、仕事や地域活動に取り組むことで地域コミュニティの活性化を図る。 ・生活習慣の改善の取組がビジネス領域やデジタル技術と連携することにより、地域経済の活性化を図る。 ・地域交通の再構築、利便性の向上を図ることで、外出機会の増大、対人交流の活発化を推進し、「こころの健康」が改善され、「からだもこころも」健やかな生活を送ることができる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「健康しが」の取組の「ビジネス化」による地域経済活性化 ・企業・地域団体・大学・自治体等の活動創出プラットフォームの運営 (委託料) 3,000千円 ・健康づくりの取組の自走化を支援 (補助金) 9,000千円 ○企業・大学等との連携による地域経済活性化 ・野菜摂取増に向けた県民の意識・行動変容の促進、企業・大学と連携したPR、県産野菜の消費拡大 (委託料) 3,228千円 ・直売所の機能強化 (委託料) 4,500千円 ・機能性をもつ茶商品の開発・普及 (補助金等) 3,505千円 ○外出機会の拡大により県民の対人交流を活性化 ・地域特性に応じた持続可能な交通ネットワーク構築 (委託料、補助金等) 25,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業の取組により事業化・商品化した数 (+63件) ②主観的健康感の向上に関する取組に参加した県民の数 (+64,600人) ③県政世論調査で「健康的な生活を送れていると感じる」と答えた県民の割合 (+9.8%)	関連URL	https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html

※滋賀県、草津市、愛荘町の広域連携事業

事業概要【デジタルプラットフォームを活用した関係人口拡大事業
[かかわりファクトリー滋賀]】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	229,821千円 (46,986千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・デジタル技術の活用により、本県に関心を寄せる人材の「かかわりしろ」が継続して生まれる。 ・デジタル実装が進み、全国から関係人口を呼び込むサイクルが確立する。 ・関係人口の力を活用した地域課題の解決や新たな視点での地域の活性化が図られる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○デジタルプラットフォームの導入 ・システム運営 (負担金) 17,897千円 ・ライター配置 (負担金) 6,074千円 ○デジタル地域コミュニティ通貨の導入 ・システム運営 (負担金) 8,580千円 ○ひとづくりの推進 (デジタル人材の育成) ・エリアコーディネーター配置 (負担金) 8,910千円 ・普及促進 (負担金) 5,525千円	滋賀県の「かかわりしろ」を全国に向けて発信 一例：お祭りのダシ制作のお手伝い  仲屋町 (近江八幡市) > 【左義長まつり】左義長ダシ制作のお手伝いしてくれませんか ● +2000 もらう 地域を支える人材が県内で継続的に活躍 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタルプラットフォームを通じた関係人口創出数 (+8,000人) ②デジタルプラットフォームへのプロジェクト掲載件数 (+2,904件) ③デジタル地域コミュニティ通貨のユーザー数 (+20,700人) ④デジタル地域コミュニティ通貨のスポット数 (+1,575件)	関連URL	https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousouu/300323.html https://smout.jp/prefectures/25 https://coin.machino.co/regions/shiga

事業概要【世界（外国人材）から選ばれる滋賀プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	175,077千円（61,650千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	外国人材の活用を促進し、県内事業者における人手不足の解消および企業価値向上、ひいては地域の経済発展を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ハノイ工科大学との連携事業 18,230千円（委託料） ・経験の浅い事業者向け合同就職面接会の開催 ・オンライン企業単独イベントの開催 ・企業の求人情報提供 ・SNS等を活用した課外活動サポートに関する企業広報 ・日本語教育講座の実施 ・企業へのインターンシップ支援（県単独財源により実施） ・企業のオンライン公開講座 ・オンライン定期情報交換 ・採用企業によるフィードバック ○県内事業者と外国人材双方に対する支援機関の設置・運営 43,420千円（委託料） ・事業者向け相談（適正な就労に関すること） ・外国人材向け相談（適正な就労に関することおよび就労相談に付随する生活一般に関すること） ・適法な就労を行うための啓発冊子の作成 ・適法な就労を行うための啓発セミナー ・留学生向け合同企業説明会 ・日本人社員向けビジネスコミュニケーション研修 ・外国人材向け求人情報提供 ・日本語やビジネスマナーに関する外国人材向け講座（別財源により実施） ・マッチングイベント参加者向け就職セミナー		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内事業者がハノイ工科大学との連携事業および留学生向けマッチングイベントにより採用（内定含む）した新規外国人雇用者数（+150人） ②事業者および外国人材に対する支援機関が主催する適法な就労を行うための啓発セミナーの参加社数（+300社） ③事業者および外国人材に対する支援機関が主催する外国人向け講座の参加者数（+200人） ④滋賀労働局が監督指導した外国人技能実習生の実習実施者の労働基準関係法令違反率（▲5.4ポイント）		

ハノイ工科大学における合同就職面接会の様子



外国人雇用お役立ちハンドブック

啓発セミナー開催チラシ



関連URL

<http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiune/kousou/300323.html>

事業概要【近江八幡市オープンガバナンス推進事業】

推進当初

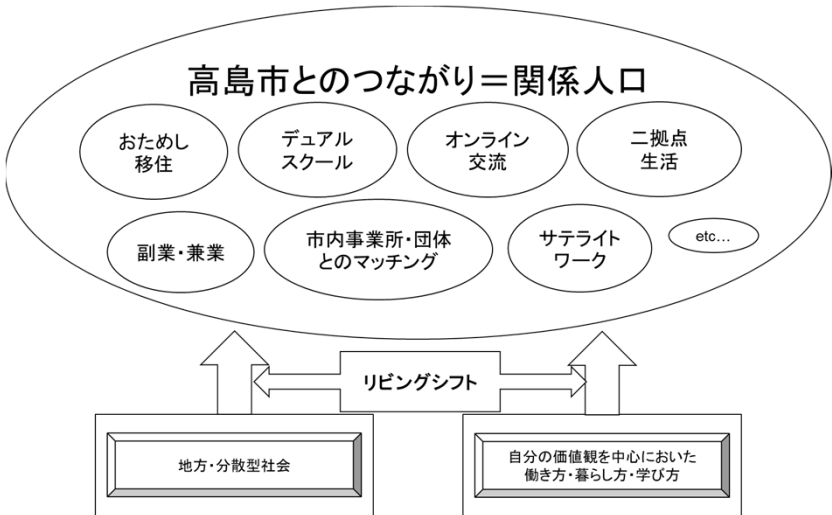
申請者	滋賀県近江八幡市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	10,081千円 (5,094千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・市民の地域づくりや市政への参画を促進する ・住民主体及び協働による事業推進体制の整備・充実を図る ・地域コミュニティの強化と新たな地域・公共の担い手の育成を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○オープンガバナンス推進協議会運営事業 393千円 有識者報償費 234千円、有識者旅費費用弁償 159千円 ○オープンガバナンス推進事業 133千円 有識者報償費 48千円、有識者旅費費用弁償 9千円、消耗品費 30千円、会場使用料 46千円 ○コミュニティ形成に向けた交流機会創出事業 4,314千円 ○コミュニティエリア将来デザイン検討事業 254千円 有識者報償費 132千円、有識者旅費費用弁償 67千円、消耗品費 55千円 ・1～2年目同様、運営中心組織としての推進協議会に加え、コミュニティ形成に向けた交流機会創出として、ポータルサイト及びプラットフォームの運営委託を行うとともに、大学連携により、対象エリアでのまちづくり事業を推進する。 ・コミュニティエリアの将来デザインに係る検討会を開催し、オープンガバナンスの手法による伴走支援を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①プラットフォームにおける交流・対話から生じた、市民や事業者主体の地域課題への取組数 (+17件) ②コミュニティの形成に向けたリアル（対面）での交流機会の実施数 (+12件) ③若者世代（20～30歳代）の純流入数 (+465人)		
	関連URL	 https://www.city.omihachiman.lg.jp/soshiki/joho_seisaku/1/3/17653.html	

事業概要【“文化財でつなぐ、守山”整備推進事業】

推進当初

申請者	滋賀県守山市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	63,822千円 (9,894千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・文化財を大切にすまちづくりを推進する。 ・文化財の確実な継承を前提とした積極的な活用による持続可能な地域活性化の実現を目指す。 ・豊かな歴史文化は市民の貴重な財産であり、その保存活用の推進により、市民の幸福度を上げるとともに、街全体の活性化を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○各文化財施設への周遊を促すコンテンツを学生と連携して製作、公開し効果的に市内文化財の魅力を発信する。 ・デジタルコンテンツの整備（委託料）2,081千円 ○地域の遺跡保存会に史跡公園の案内、維持管理を委託し、小学生へ向けた活用事業等を展開する。 ・伊勢遺跡史跡公園コンシェルジュ（委託料）1,114千円 ○未整備である諏訪家屋敷庭園の石垣を中心に設計等の業務委託を行う。 ・整備設計業務（委託料） 6,699千円	 守山市文化財保存活用地域計画 令和4年3月作成	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①文化財施設来館者の増加数（+12,900人） ②守山市文化財プロモーションビデオのYouTube再生回数（+2,200回） ③アプリダウンロード件数（+450件） ④レンタサイクル貸出件数（+280件）	関連URL	https://www.city.moriyama.lg.jp/kanko_event_manabi/bunka_bunkazai/1002772/1002798.html

申請者	滋賀県甲賀市	初回採択回	令和4年度第1募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	127,540千円（33,358千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	区、自治会や自治振興会、不動産業者等との連携体制を強化した「空き家」の活用を図る 若者がまちづくり、地域づくりに関わる機会を設け、若者の移住・定住（UIターン）を図る 地域住民と移住者のミスマッチを防ぐための受け入れ体制づくりを図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○都市圏からの新たな移住者の田舎暮らしを発信するとともに、移住者同士のネットワークを構築するためのコーディネートを実施 ・移住定住モデラーコーディネート（委託料）ほか13,970千円 ○30歳の成人式などシビックプライドの醸成による定住促進 ・30歳の成人式開催（委託料）ほか9,540千円 ○集落のルールブックを作成による地域住民の受け入れ体制づくり ・集落のルールブック作成（委託料）ほか7,348千円 ハード事業経費 ○お試し居住施設整備（補助金） 2,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住世帯数（+108世帯） ②転入転出者数の差（+361人） ③出前講座回数（+41回）	関連URL	https://www.city.koka.lg.jp/16565.htm

申請者	滋賀県高島市	初回採択回	令和４年度第１回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	60,245千円（18,593千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・コロナ禍で顕在化した「地方への関心」や「心地よい暮らしへの志向」といった意識変容や行動変容を「機会」と捉え、多様な形で本市と関係を持つ関係人口を増やし、対流を活発にする ・様々な働き方の変化を背景に、都市住民が本市に滞在し、そのスキルや能力を発揮して心地よく「仕事」を行うとともに、家族で高島市の余暇や食を味わうことで心地よく「暮らし」、それぞれのワークバランスの実現を行う		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【ライフデザイン】 ○関係人口が高島の暮らしを体験できる機会の提供 （委託料：1,894千円 需用費等5,715千円） 【ワークデザイン】 ○仕事はそのまま高島に滞在するリモートワーカーの誘致と高島市で活躍できる機会の創出 （委託料：10,703千円 消耗品費等281千円） 【エリアデザイン】（R6年度対象経費なし） ○関係人口が市内で対流するネットワークの整備 【リビング・シフト構想全体事業推進】（R6年度対象経費なし） 市外へのプロモーションを行い都市住民の関係人口拡大推進		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①高島縁人（登録制関係人口）の数（+305人） ②関係人口と、市内の事業所や地域団体とのマッチング件数（+4件） ③おためし地方暮らし参加件数（+10件）	関連URL	https://www.city.takashima.lg.jp/soshiki/seisakubu/sogosenryakuka/1/2/1/index.html

1

事業概要【「DX（デジタルトランスフォーメーション）」と「グリーン」「官民共創」で築くポストコロナ時代の 地方都市「近江日野商人」ふるさとプロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県日野町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	222,817千円 (65,573千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・日野町で働いている人、住んでいる人、都市部から定期的に長期滞在しにくる人など、誰もが利用しやすい公共交通が整備され、マイカーに頼り過ぎることなく町内周遊が可能となり、人々が交流し、にぎわっているまち ・最新のデジタル技術を適切に取り入れ、「近江日野商人」のマインドを受け継ぐ事業者が次々と活躍し、またかつての近江日野商人のように、空間を超えてつながり、交流しているまち ・SDGsの視点を踏まえ、世界的に求められているCO₂排出削減に適切に対応し、環境負荷を低減させた持続可能なまち ・これらを通じて、事業者や商店等が潤い、地域経済が活性化し、地域内を経済が循環しているまち		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「わたむき自動車プロジェクト」推進事業 「マイカー移動を路線バスへ」推進事業（わたむき自動車プロジェクト推進協議会：負担金20,000千円【10/10】） ○「ちょっと工夫でエコロジーなまちづくり」推進事業 ・「近江日野牛」土づくり事業（農業組合・営農組合等：補助金2,700千円【3/10】） ○「日野町版DX」で築く地域経済活性化と関係人口拡大＝近江日野商人の伝統を活かす＝ ・「アジャイル開発」による官民共創システム構築（町：委託料3,980千円） 「わたむき自動車プロジェクト」推進事業 公共交通による持続可能な地域経済活性化 「日野町版DX」で築く地域経済活性化と関係人口拡大 →近江日野商人の伝統を活かす 「ちょっと工夫でエコロジーなまちづくり」推進プロジェクト Agop等事業者との官民共創により、エビデンスに基づいて持続可能な公共交通体系を整備し、マイカー利用せず町内を巡ることが出来るまちを実現し、CO₂削減と交流人口増加、ターミナルでの消費拡大やまちなか周遊による地域経済活性化を推進する。 最新のデジタル技術導入を「日野町にあう形」ですすめ、地域に根ざしたDXを推進するとともに、その成果を活かしながら、次世代の日野町を担うデジタル人材の養成を目指す。 「ちょっとした工夫」「ほんのひと手間」で、社会貢献と事業拡大を両立させる取り組みを推進する。 【おおまかな進め方】 1年目 各事業における推進基盤の構築（官民共創システム構築） ↓ 2年目 官民共創による事業推進（トライアンドエラー） ↓ 3年目 「自立」にむけた推進体制構築 交流人口増加（地域経済循環促進）とCO₂削減の両立		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①交流人口増加（まちなか交流拠点等への来場者数増加）による経済波及効果の増加額（+510百万円） ②マイカーではない移動等によるCO₂排出量の削減量（+172t-CO₂） ③町が提供する生活アプリによる体験事業等参加者数（+4,500人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.shiga-hino.lg.jp/0000007289.html （効果検証） https://www.town.shiga-hino.lg.jp/0000004666.html

事業概要【地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県ほか 5 自治体※	初回採択回	令和 5 年度第 1 回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	755,950千円 (265,201千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・人口減少、少子高齢化に伴う地域の課題が、若者・よそ者など多様な人材や団体等の関わりによる「ソーシャルビジネス（社会的起業/企業）」の創出等を通じて解決されることを通じた、持続的で魅力的な地域づくり ・移住、多地域居住、副業・兼業等働き方の変化と相俟って、自分が活躍できる場として、ソーシャルビジネスの担い手となる人材や団体等が継続的に供給される環境の創出		
事業概要・ 主な経費	○担い手の確保 コレクティブ・インパクトの手法や地域商社の創出を通し、持続可能な地域課題の解決スキームの検討 (委託料: 15,000千円) ○地域への「関わりしろ」の見える化 コレクティブ・インパクトの手法や地域商社の創出を通し、持続可能な地域課題の解決スキームの検討 (委託料: 15,000千円) * 再掲 ○支援団体 (中間支援団体) の創出・育成 多様な人材・活動をつなぐための中間支援組織の育成 (委託料: 18,100千円 報償費 等 794千円) ○多様な人材、民間活力の誘引力の向上 滋賀とのつながり創出事業 (委託料: 55,385千円)		
※経費内訳はR6年度事業費	目指す姿		
KPI	①地域課題解決プロジェクト組成数 (+ 19件) ②プロジェクトにかかわる人数 (+ 170人) ③プロジェクトにかかわる中間支援団体数 (+ 27団体) ④滋賀県の知名度向上 (▲3位)	関連URL	http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【滋賀の農業・水産業「人材活躍」プロジェクト事業】

推進当初

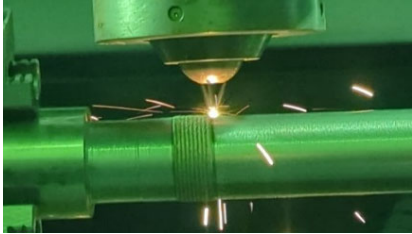
申請者	滋賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	302,772千円 (103,739千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・本県農業・水産業における中核的な担い手が確保・育成され、農業・水産業がより魅力ある産業となるとともに、世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」に関わる「人のすそ野」が拡大することで、持続可能な本県農業・水産業が次世代に引き継がれる姿を目指す。		
事業概要・主な経費	○オーガニック栽培技術研修の実施および販売戦略による経営モデルの普及・定着 ・栽培研修開催・経営モデル普及等経費（補助金）14,057千円 ○量販店出荷型イチゴ経営モデルの普及・拡大 ・生産者研究会・経営モデル普及等経費（補助金）11,000千円 ○「琵琶湖システム」を構成する伝統漁法の研修の実施、世界農業遺産認定を活用した情報発信活動への支援 ・琵琶湖漁業に就業を希望する者への研修費（委託料）11,950千円 ・湖魚販売等に意欲的に取り組む生産者団体への支援（補助金）500千円 ○湖魚や県産野菜の認知度向上・活用機会創出に向けた情報発信および体験型キャンペーンの実施 ・情報発信および体験型キャンペーン実施費（委託料）13,936千円		
KPI	①新規就農者数（+40人/年） ②集落営農法人数（+9経営体） ③琵琶湖システムロゴマーク利用件数（+160件）	関連URL	https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html https://www.pref.shiga.lg.jp/biwako-system/

※経費内訳はR6年度事業費



事業概要【 SHIGA Smart Factory 推進プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	421,927千円 (151,738千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・中小企業の製品・製造工程のグリーン化のモデルケースを創出し、横展開することでグリーン化の取組を促進する ・大学等との連携により専門知識や技能を補完し、小規模事業者等の生産性向上とグリーン化を推進する ・デジタル人材を育成し、効率的なグリーン化・スマートファクトリー化を推進する ・県外・海外企業等とのマッチングの機会を提供し、本県中小製造企業による新たなサプライチェーンへの参入を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○スマートファクトリー、グリーン化に向けた自社取組支援 ・3Dプリンタ等を活用した生産性の高い新たな試作製造手法の開発事業 3,678千円 ・県内製造現場への水素利活用促進事業（委託費）7,300千円 ・県内の製造現場に対応するAI検査技術開発事業 677千円 ・県内企業向け製品・製造工程のグリーン化・高効率化モデル提供事業（補助金）33,240千円（申請内容によっては一部ハード経費を含む） ○スマートファクトリー、グリーン化に向けた産学官連携支援 ・スタートアップ企業と県内中小製造企業の連携事業 10,000千円 ・県内大学等のシーズによる県内中小製造企業が抱える課題解決支援事業 25,270千円 ○デジタル人材の育成支援 ・県内中小製造企業のデジタル人材育成支援事業 9,160千円 ○新たな受注先の獲得支援 ・県外企業からの受注獲得支援事業 8,523千円 ・海外企業からの受注獲得支援事業 13,396千円  金属3Dプリンタによる造形(例)  新たな受注先獲得に向けた商談会		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 県外、海外企業と県内中小製造企業との成約件数（+17件） ② 県内中小製造企業の製造品出荷額増額分（+20億円） ③ 県内中小製造企業のデジタル人材育成数（+14人）		関連URL https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html

事業概要【子どもから選ばれる地域産業プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	146,603千円 (53,050千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・教育現場との連携により、担い手の育成・確保を図る。 ・地域をつなぐ地場コンサルタントの育成およびIT・DX化により、商品開発や販路の開拓を促進し、経営基盤の盤石化を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域産業から教育事業へのアプローチ ・実演・体験型の授業やイベントの開催 24,572千円 (委託料・補助金等) ・農業高校を拠点としたDX設備の導入 3,550千円 ○公設試等と連携した地域産業のIT・DX化 ・公設試と連携した地域産業者自身のIT・DXスキル習得 2,478千円 ○地域に根差したコンサルタントの育成やフォロー体制の構築 ・コンサルタントの育成 15,450千円 (委託料・補助金) ・関係団体を通じたフォロー体制の構築 7,000千円 (補助金)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内高等学校等卒業者の県内就職率 (+2.5%) ②教育機関等との連携事業に参加した子どもの数 (+4,000人) ③地域産業のIT・DX化に取り組んだ件数 (+6件) ④地場のデザイナー・コンサルタントの育成人数 (+3人)		関連URL https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiune/ko-usou/300323.html

事業概要【宇治市・大津市間における平安文化観光推進事業】

推進当初

申請者	滋賀県大津市、京都府宇治市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	620,843千円（310,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・両市が持つ歴史的資源や文化資源が国内外で認知され、幅広い年代やインバウンドを含めた多様な層の観光客が両市を訪れ、両市の文化に深く触れる機会が創出されている。 ・行政や民間等の多様な主体が連携することで、両市が持つ、豊かな自然環境、歴史・文化、地場産業等が、地域資源として有効活用することができおり、地域独自の確固たるブランドが確立されている。 ・地域の魅力が高まり、交流人口のみならず関係人口が増加することで、住民の自らの地域への愛着や誇りの醸成にもつながる地域づくりができています。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○連携の強みを活かした、戦略的かつ効果的な情報発信 ・プロモーション経費（大津市:負担金）20,000千円 （宇治市:委託料）16,402千円 ○平安文化をテーマとした観光体験の高付加価値化を図る企画展 ・企画展実施（大津市:負担金）40,000千円 （宇治市:委託料）55,670千円 ○デジタル技術を活用した、地域ならではの平安文化を体感できる企画展の実施 ・デジタル技術を活用した企画展（大津市:負担金）33,500千円 ○地域への愛着や誇りの醸成にもつながる地域づくり事業 ・植物公園源氏物語関連事業（宇治市:委託料）4,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①大津市での観光消費額（+406千円） ②宇治市へ訪れた観光客の飲食店利用率（+4%） ③京都を訪れた観光客の大津市への来訪率（+9.9%） ④京都を訪れた観光客の宇治市への来訪率（+18%）	関連URL	（効果検証） 令和6年10月公表予定

事業概要【米原市スマート農業推進事業】

推進当初

申請者	滋賀県米原市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	5,490千円 (1,452千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	■ 意識啓発・学びの場の創出および技術導入における財政支援に一体的に取り組み、スマート農業の導入・普及を図る。 ■ スマート農業の導入・普及の推進を通じて、市内農業者の作業の効率化、省力化、収益性の向上を図る。 ■ 未来の担い手としてスマート農業技術を使いこなす人材の確保・育成を図る。 ■ 最終的に、本市農業における担い手の確保・育成による持続可能な地域農業を目指していく。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【意識啓発・学びの場を創出する事業】 ■ 市内先輩農家から具体的な活用方法や工夫、課題等を学ぶスマート農業視察会の実施 ・（視察先への謝礼）40千円 ■ スマート農業への関心、知識、導入意欲を向上することを目的に有識者を招聘するスマート農業勉強会の開催 ・（委託料）100千円 ■ 農業に関心のある方とのマッチングや移住定住、空家対策事業と連携した農業関係人口創出事業 ・予算0千円 ■ 新たな担い手となる農業者の掘り起こしおよび育成を目的とした「まいばら農業塾」の実施 ・（需用費、講師謝礼、使用料及び賃借料、委託料）1,312千円	  ▲R5スマート農業視察会の様子 ▲R5スマート農業勉強会チラシ	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農作業時間の縮減（+45%） ②スマート農業技術の導入件数（+9件） ③上記②の内、重点目標の件数（+3件） ④スマート農業視察会の参加者数（+56人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.city.maibara.lg.jp/soshiki/seisaku/sesakuka/gyosei/sougousenryaku/index.html

事業概要【滋賀の地域資源の発掘・保存・磨き上げ・活用サイクル化プロジェクト】

推進当初

申請者	滋賀県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	144,695千円 (51,427千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	誰もが地域資源の魅力を享受でき、また、地域資源が適切かつ有効に活用され、世界にその魅力が伝わるとともに、地域が活性化されることを目指す。豊富な地域資源をつなぎ合わせ、一体的な発信やツアー造成を行うことで誘客を図り、地域を活性化することを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○本県特有の地理的要因（地域資源の点在）対応 ・近江の文学普及事業（委託料）2,500千円 ・美の魅力一体的発信事業（委託料）3,500千円 ○本県特有の地理的要因（北部地域の振興）対応 ・「近江の城」魅力発信事業（委託料：858千円、需用費：665千円、補助金8,700千円 他） ○本県特有の地理的要因（近畿圏における立地）対応 ・ぐるっと美の魅力発信事業（委託料）4,662千円 ・滋賀の文化観光推進事業（補助金）11,800千円	文化 滋賀県立美術館  歴史 近江の城  自然 スポーツ 滋賀の造形作品  ツアー造成 周遊・滞在	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+105.49億円） ②地域における観光入込客数（+3,162.48千人） ③地域における観光入込客数による地域への経済波及効果（+0.4倍） ④県立美術館の展覧会観覧者数（+35千人）	関連URL	調整中

申請者	滋賀県守山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	22,000千円（8,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・地域内の雇用や魅力的なしごとの創出を図る。 ・多様化する社会課題、市内のDX・GX推進や人口が増加するまちを背景とする地域課題の解決を図る。 ・地域内のイノベーション人材を発掘し育成する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○本市を実証のフィールドとして活用するための事業（実証実験）の実施およびこうしたフィールドを求める企業等との関係構築のための起業家交流イベントの実施。加えて、これらの事業を展開するにあたり、複業人材の登用を行う。 ・地域課題解決プロジェクト創出事業（委託料）：3,000千円 ・外部人材招聘経費（委託料）1,000千円 ○地域支援機関とスタートアップ等との協業による事業および新たな価値（イノベーション）を創造する地方創生人材を発掘・育成する事業の企画・実施および取組の総括・効果検証を行う。 ・課題解決ワーキング事業（委託料）：4,000千円	 Assemble! Challengers! 起業家の集まるまち 守山 【起業家のあつまるまちのロゴデザイン・フレーズ】	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIJ ターンによる起業・創業件数（+15件） ②本事業を通じたプロジェクトの本市ホームページへの掲載件数（+15件） ③関係人口創出数（+300人（社））	関連URL	https://www.city.moriyama.lg.jp/sangyo_business/kigyouka/index.html

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【製造業のスタートアップとイノベーションを促進する、
「企業に寄り添うパートナーシップ型工業技術センター」整備事業】

申請者	滋賀県	初回採択回	令和4年第度1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	2,043,257千円 (44,670千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分） ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	人口減少が進む県東北部地域で、研究開発型ベンチャーを次々と産み出し、既存企業の新たなチャレンジについても広く支援を行うために、ベンチャー等を創出するための環境と、高度な研究開発環境を提供するオープンイノベーションセンターを有する工業技術センターを整備して、地域産業の活性化を目指す。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	既存の東北部工業技術センターの統合移転において、オープンラボ（研究シーズを事業へと繋げる場）を整備し、ベンチャー等を創出するための環境を整えるとともに、オープンサロン（製品を「売る」ための支援場）、サテライト室（立地的に不便な企業の経営支援強化）、工場棟（製品の試作・評価）の整備により、オープンイノベーションを加速を図る。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 建築工事費 32,240千円 ○効果促進事業（ソフト事業）の内容 【認定調査費】 認定調査費 12,430千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①滋賀県北部の製造品出荷額（+80億円） ②オープンイノベーションセンターを活用し、県内企業が県外の企業と商談を行った件数（+100件） ③東北部工業技術センターの技術相談対応件数（+1,000件） ④理系大学出身者の県内企業への就職者数（+120人）	関連URL	http://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/kenseiunei/kousou/300323.html



事業概要【道の駅あいの土山整備事業】

拠点当初

申請者	滋賀県甲賀市	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,499,387千円 (1,263,341千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	老朽化した既存建物を解体して拡張した隣接地に新たな道の駅あいの土山を建築し、土山茶の魅力を伝えるためのブランド「土山一晩ほうじ」をはじめとする本市で生産された農産品を集中的に取り扱うことにより、市内農産物の農業振興を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	道の駅において、地元産農産物を中心とした特産品等の商品開発を行うとともに、様々な体験プログラムやイベントを展開して集客を図る。また、デジタル技術を活用した周遊型観光の促進、防災機能の強化等にも取り組む。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】・建築工事費 747,769千円 【建築物と不可分な設備工事】・設備工事（電気・機械） 377,045千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 【外構工事】138,527千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①施設来訪者数（+81,278人） ②施設売上高・・・（+65,134,496円） ③市内新規就農者数（+20人） ④出荷者数（+90人）	関連URL	https://www.city.koka.lg.jp/16565.htm



地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【JAこうか旧雲井支店を活用したまちづくり拠点整備事業】

拠点補正

申請者	滋賀県甲賀市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	29,744千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	まちづくり拠点を整備することにより、多世代が交流する事業を重ね合わせ、多様な主体が交流できる仕掛けづくりにより、地域住民が活躍し、繋がり、憩う拠点とする。市民活動団体間の活動に相乗効果を生み出し、地域資源のエンパワメントを高め、市民活動団体が自走できるための支援を実施することで地域内での経済循環を促し、地域内雇用・地域の持続力を高める。		
整備内容・利活用方策	事務室を改修し、十分な広さをもった新たなコミュニティスペースを整備することにより、多世代活躍・交流及び情報発信の拠点として整備する。 また、史跡の観光案内や地域特産物販売等、雲井地域の魅力を発信する拠点としての機能を整備し、交流人口の拡大を図る。 ・改修工事費：29,744千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+20人） ②年間施設利用者数（+900人） ③協働事業創出数（+5事業） ④市民活動団体・スタートアップ企業創出数（+5団体）	関連URL	https://www.city.koka.lg.jp/16565.htm

